

なめらかなお金がめぐる社会。
あるいは、なぜあなたは小さな経済圏で生きるべきなのか、という
こと。



発売日: 2017年8月25日
出版: ディスカヴァー・トゥエンティワン
著者: 家入一真
ページ: 148

「お金がすべて」の社会のその先に。
クラウドファンディング、恩送りの社会。
資本主義のアップデートが始まる。
今、家入一真が伝えたい、新しいお金、経済の姿。

ささやかな助け合いから生まれる小さな物語が、クラウドファンディングの現場では日々、
誕生している。
グローバル経済や商業主義、会社、学校などの既存の大きな仕組みを「大きな経済圏」と呼
ぶならば、
個人レベルでつながりを持ち、支え合うコミュニティを僕は「小さな経済圏」と呼びたい。
そして、この「小さな経済圏」こそが、何かと生きづらくなった現代で、新しい生き方の鍵
を握っているのだ。
(「はじめに」より)

目次

- 第1章 「いい社会」って何だ?
- 第2章 21世紀型の生き方と「小さな経済圏」の試み
- 第3章 小さな灯をともし続ける
- 特別対談1 家入一真 × pha 「次の時代の生き方論」
- 特別対談2 家入一真 × 谷家衛 「行きすぎた資本主義とCAMPFIREの役割」

<https://rapidgator.net/file/cf7e6e7652a49eb54058d0bc87cf77fc/KJlfhiy8D.pdf.rar.html>